

平成 26年 4月 16日

## 地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長 殿

所 属 医学部附属病院 医療安全・感染管理部  
氏 名 田辺 正樹

活動テーマ	三重県内の医療機関におけるアンチバイオグラムの作成
実施期間	平成 25年 4月 1日 ~ 平成 26年 3月 31日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容 三重県内の病院におけるアンチバイオグラムを作成し、各医療機関に還元するため、三重県臨床検査技師会学術部担当技師の所属する県内病院3施設、及び三重大学医学部附属病院にて、検査データの集約方法、還元情報について協議し、臨床データの試験統計を行った。 上記をもとに、三重県内の医療機関を対象に微生物情報を収集し、細菌の検出状況や薬剤耐性の状況を地域別、病院機能別等で集計し三重県の感染症の発生動向を把握するための、情報システム (Mie Nosocomial Infection Surveillance: MINIS) の開発を行った。</p> <p>(2) 地域への貢献 (地域の発展・活性化への寄与、広がり) 平成 26年 2月 22日に開催された、第 21回 三重細菌真菌感染症研究会にて活動結果の報告を行い、三重県内の感染症対策関係者への情報発信、協力依頼を行った。</p> <p>(3) 共同実施者との連携状況 学内活動実施者である三重大学医学附属病院医療安全感染管理部・中央検査部細菌検査室と共同実施者である三重県臨床検査技師会学術部 微生物・公衆衛生検査研究班の担当者3名と密に連携し活動を行っている。 細菌感受性検査法は、医療機関によって検査法が異なるため、複数の施設から情報集約するためには、種々の課題がある。上記、県内4医療機関の担当者間で情報共有することで、施設間差の把握が容易となっている。</p> <p>(4) 大学の教育・研究成果のかかわり 来年度以降、新しい情報システム MINIS の運用を開始し三重県内の微生物情報の把握が可能となることで、感染症診療の向上や医学生への教育にも役立つ情報を提供できると考えている。</p> <p>(5) イベント等開催実績 (名称、実施場所、参加人数等) なし</p>